

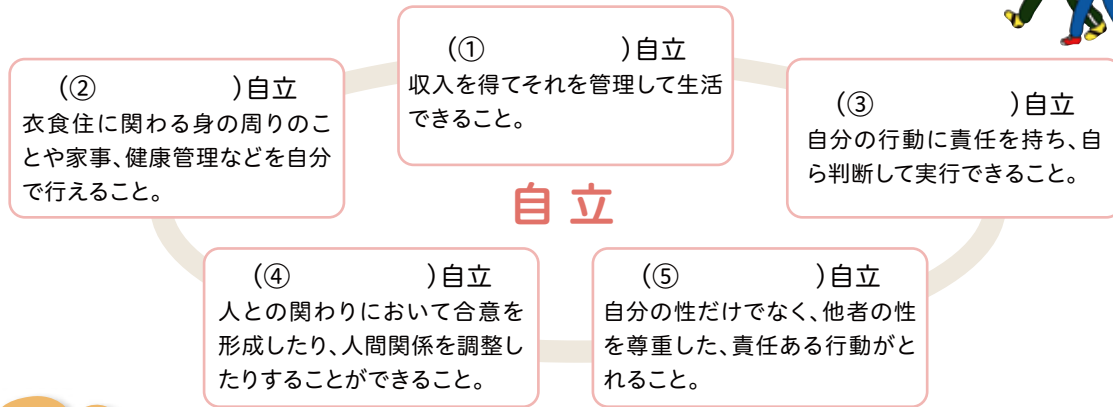
年 組 番
名 前

あなたの将来をデザインしてみよう!

自分の将来を考えるうえで、
「長期的なビジョンを持つこと」、「自分にとって大事なものは何かを考えること」が大切です。
あなたはどのような人生を送りたいですか?
周りの人々とどのような関わりを持って共に生きていきたいですか?
一人ひとりが、個性や能力を生かし、自分らしく生きていくことが大切です。

1 自立ってどういうこと?

自分らしく生きていくためには、一人ひとりが自立した存在であることが大切です。高校生という時期は、自立した人間になるための大切な準備期間です。自立には次の5つの側面があります。将来の職業生活、家庭生活に備えて、これら5つの自立を確立していく必要があります。主体的に生きるため、様々な能力や知識を身につけていきましょう。



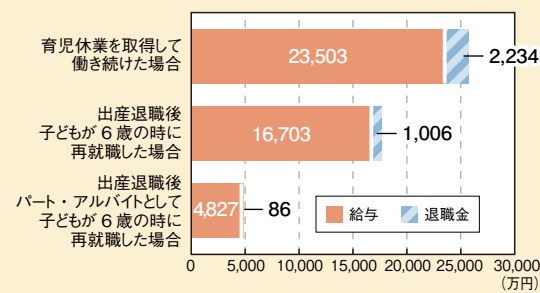
ちょっと一息。

働き方によって変わる生涯所得

出産後に夫婦ともに育児休業を取得して働き続けたり、女性が出産を機に退職した後に再就職したりと出産後の働き方には様々な選択肢があります。

右のグラフは、女性の生涯所得を出産後の働き方別に比較したものです。男性も女性もこのような所得の差も考慮しながら、将来のライフスタイルを考えてみましょう!

女性の出産後の働き方別生涯所得比較



出典:平成17年版国民生活白書(内閣府)

2 まずは、自分のことを知ろう!

「将来何になりたいか、自分は何に向いているかなんてよくわからないし…」と思っているあなた。今のあなたはどんな人?何が好きで、何をしているときが楽しい?世の中のどんなことに興味を持っている?あなたの力が社会の役に立ち、あなた自身もやりがいを持てる仕事って何だろう?将来を考える第一歩は、自分自身を知ることです。まずは、自分のことを見つめてみましょう。

A あなたは、今、何が好きで、何をしているときが楽しいですか。
好きなことや楽しいと感じることを3つあげてみましょう。

- ①
- ②
- ③



B 自分の性格について、どう思いますか?

自分の性格で好きなところ、自慢できるところを5つあげてみましょう。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤



こんな性格がありますよ

- ・几帳面 ・責任感がある ・積極的 ・活動的 ・計画的 ・雄弁
- ・勇気がある ・柔軟性がある ・社交的 ・温厚 ・協調的 ・堅実
- ・理論的 ・包容力がある ・独創的 ・明朗 ・誠実 ・優しい
- ・意志強固 ・理性的である ・決断力がある ・素直 ・根気強い

C 自分の好きなことや性格が活かせるのはどんなときか考えてみましょう。

(学校や部活動で)



(家庭や地域で)



3 あなたの将来をデザインしてみよう!

高校生は、希望する自分の将来の姿を想像し、それを実現していくためにどうすればよいかを考え、そして実際に動き始める時期です。そんなとき「男だから…」、「女だから…」などと、周りの人から言われたり、自分自身で思ったりしていませんか?

自分の将来は、自分自身が何をしたいか、何になりたいか、どういう人生を送りたいかで決めることが重要です。今、あなたが何に興味があるのかを見つめ、将来どのようになりたいか、仕事や家庭生活、地域活動等のバランス(時間配分)をどうしたいかについて考えてみましょう。そうすれば、高校卒業後の進路のヒントがみえてきますよ!

高校生

D あなたは、今何に興味がある?



25歳~30歳

E 25歳~30歳の自分の希望する姿は?

(仕事は?結婚は?どのような家庭?家事や子育ての分担は?平日は何をしている?休日は何をしている?)

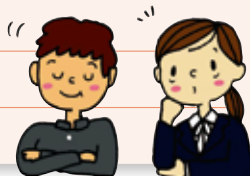


40歳前後

F 40歳前後の自分の希望する姿は?

(仕事は?結婚は?どのような家庭?家事や子育ての分担は?平日は何をしている?休日は何をしている?)

G そのための高校卒業後の進路は?



4 みんなが輝く社会へ

30歳や40歳の自分の姿をイメージすることができましたか?職業を持つことは、やりがいや生きがい、自己実現につながります。しかし、現実には、長時間労働などにより十分に家事や子育てに関われない男性がいる一方、出産を機に仕事を辞めざるを得ない女性もいます。経済的自立や生活的自立は男性にとっても、女性にとっても大切なことです。男女がそれぞれの希望に応じ、共に働きながら家事や子育てをしていくためには、どのような考え方や環境が必要か、考えてみましょう。

H(考えたこと)



5 先輩からのメッセージ

※2名の先輩のプロフィール等は、平成26年1月時点のものです。

しばや ともこ
澁谷 知子さん

(34歳、新江州株式会社 プランセル事業部、小学4年生・2年生・5歳の3児の母、大津市在住)

現在は、どのようなお仕事をされていますか?

美術系の大学を卒業後、働き出して14年目です。現在は、カタログや商品パッケージなどをデザインする仕事をしています。仕事では悩むことも多いのですが、自分のデザインが商品になった時は本当にうれしく、また頑張った成果が目に見えてわかるので、とてもやりがいがあります。

お客様の“想い”を形にすることは大変ですが、私の提案したデザインに満足して喜んでいただけただけ時には、この仕事をしていて本当に良かったなと思います。

出産後も働き続けようと思ったのは、なぜですか?

3人の子育てを育てながら働き続けることは大変ですが、働くことで新しい出会いもあり、また様々な仕事を経験することで自分自身の視野が広がっていくことがとても楽しいです。

子どもの帰宅する時間が私より早いので寂しい思いをさせることもありますが、最近では子どもたちも私の仕事を理解してくれていて「お母さんは、こういう仕事をしてるんだ!カッコいいね!」と応援してくれるので、本当に励みになります。普段は家に帰ってからゆっくりと家事をする時間はありませんが、小学生の子どもが色々手伝ってくれているのでとても助かっています。



高校生のみなさんへのメッセージ

最初は、子育てをしながら働き続けることに不安がありましたが、家族や会社の人たちの協力もあり続けられています。みなさんもやる前から無理だとあきらめたりせず、自分のやりたいことに挑戦していきましょう。

しまむら りょういち
島村 遼一さん

(30歳、ダイハツ工業株式会社 QCTユニット品質改革室、1歳11か月・0歳6か月の2児の父、野洲市在住)

会社では、どのようなお仕事をされていますか?

大学で機械工学を学んだ後、現在の自動車会社に就職し、主に新型車のエンジン開発の仕事をしています。仕事は大変ですが、自分が開発・改良した自動車には愛着が生まれ、具体的な課題に対して解決策を考え出し、より良い製品を作っていくというモノづくりの仕事にとてもやりがいを感じています。

現在、育児休業中とのことですが、どのような生活をされていますか?

2人目の子どもが生まれたのを機に1年間の育児休業を取得中です。生まれた当初は、3時間おきにミルクをあげなければならぬなど、睡眠時間が取れず大変な面もありましたが、子どもと触れ合っている時間は楽しいので苦だとは思っていません。今は、1日2回の離乳食、4時間ごとのミルク、おむつ交換のほか、掃除や洗濯などの家事をしています。

高校生のみなさんへのメッセージ

仕事をしているときは、どうしても家に帰るのが遅くなってしまうことが多く、土日以外はなかなか育児に関ることができていませんでした。子どもの成長は早く、子育ての期間は限られているので、子どもと一緒に過ごせる時間はとても貴重でうれしく思っています。ぜひみなさんも子どもが生まれたら育児休業を取って、子どもと一緒に過ごす時間を楽しんでください。

